

令和元年度(平成31年度) 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	下條村「自助・共助力」醸成事業
事業主体 (連絡先)	下條村 0260-27-2311
事業区分	(4)安全・安心な地域づくりに関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	576,895 円

事業内容

- ①公民館分館を基準として7地区を単位として設定。施設数、世帯数から作成枚数を精査し、避難施設用にA1版を、全戸配布用にA2版の地区防災マップを作成。飯田建設事務所の協力を得て警戒区分を色分け、医療機関や避難所の明記や注意報、警報の発令が起きた場合に取るべき行動がわかる「マイタイムライン(避難行動予定表)」も掲載した。
- ②防災教育の実施(地区防災マップの説明及び地震体験)
小中学生及び消防幹部向けに作成した防災マップの見方および活用方法を説明、地震体験車を活用し実際に地震が来た場合にどう行動すればいいか、どこに避難すればいいか説明を行い「自らの命は自らが守るという意識」づけの学習会を行った。
- ③防災講演会
「自助・共助」の意識を高め自主防災力向上を目指すために、地区の安全責任者である代表者を対象とした地区防災マップの説明及び防災講演会を開催した。



【地域住民による危険箇所の検討の様子】

【目標・ねらい】

- ①村内の全地区を網羅した地区防災マップの作成。
- ②実際にその地区に住む地域住民が情報を出し合ってマップを作成することで正確な危険箇所が把握でき、住民同士の連携が深まる
- ③毎年発生する災害に対して全村民が危機感を持ち自分の身は自分で守る意識を持つ。

事業効果

今までの地区内で口伝にて伝えられていた暗黙知の災害箇所について「地区防災マップ」という形で形式知への変換が行われたことで今後、地区の危険箇所災害箇所を末永く知識として保存していく体制を作ることが出来た。
 毎年のように全国各地で大規模な災害が発生する状況を踏まえ、実際に住む方々の意見を反映したマップが作成できたことで、災害が他人事でないという事の意識づけや、いざ下條村が災害に見舞われた場合に「自分の身は自分で守る」という意識の強化=自助力の強化に繋がると共に地区内で協力してマップ作成を行ったことで「顔の見える関係」の強化が行われ災害時に地区内での協力体制の更なる強化=共助力のアップにも繋がった。

※自己評価【 B 】

【理由】

全地区を網羅した初めての防災マップを住民の手で作成できたことは大変大きな成果だった。今後防災訓練等で更なる周知・防災教育に活用していく。

今後の取り組み

今回地域住民の手で地区防災マップを作成したことで地域に災害に対する意識改革が行われ、自主防災力の強化に繋がった。今後は地区防災マップを小中学校の防災訓練や地区の防災訓練で活用し防災教育のさらなる実施を行うと共に「自助・共助力」のさらなる醸成に努めていく。